

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ…



2020年
6月24日
第95号



ウイキョウ（セリ科）

今、第三圃場では背の高い茎の上にパラソル形の黄色い花姿が見られます。英名をフェンネルと言う、地中海沿岸原産の多年草草本です。特有の香気は精油成分のアネトールです。古代エジプト、ローマ時代から栽培される古い栽培植物の一つです。果実が茴香（ウイキョウ）という生薬やスパイスになります。肉、魚料理に使用すると臭みがなくなり、香ばしくなることから名付けられました。ウイキョウの果実は、西洋でもインドでもスパイス（スパイス名もフェンネル）として、ピクルスやカレーに使用されます。日本には平安時代に中国から渡来し、江戸時代には栽培が行われるようになりました。薬用としては、芳香性健胃薬として、太田胃散や第一三共胃腸薬などに配合される他、漢方医学では温裏薬として安中散や丁香柿蒂湯などに配合されます。ところで、痩身効果もあるとのこと、ダイエット用健康食品にも配合されていますが、効果は如何に？

ムラサキバレンギク（キク科）

第二圃場では、花の中心部（頭状花）がクリのイガのような球状で、その周りの赤紫色の舌状花が放射状に広がっている面白い花が見られ、これから夏の間長く楽しませてくれます。和名は、開花終盤に15枚の舌状花（外見上の花びら）が垂れ下がり、江戸時代の火消しが持っていた纏（まとい）にたれ下げた細長い飾りである馬簾（ばれん）に似ていることに由来します。アメリカ先住民が民間薬として用いてきた多年草で、属名からエキナケアやエキナセアとも表記されます。根と地上部それぞれを薬用部位とし、欧米では、感染症、皮膚疾患、カゼの予防、免疫力向上に有効なハーブとして知られています。カゼに対する臨床試験では、エキナセア製剤で治りが早くなった、という結果があります。

温室ではコダチペゴニアの花が見られますよ！

今、こんな草木が楽しめます！！